

令和 年 月 日 届出 長 殿	受 理 令 和 年 月 日						
	第 号						
	書類調査	戸籍記載	記載調査	調 査 票	附 票	住 民 票	通 知

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。死亡したことを知った日からかぞえて7日以内に出示してください。

□には、あてはまるものに☑のようにしるしをつけてください。

→死亡したところが、台湾またはパレスチナ（ヨルダン川西岸地区及びガザ地区）である場合、地域から記載することができます。

→「筆頭者の氏名」には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

外国人のうち、次の地域の法を本国法とする人は、国籍に代えて地域を記載することができます。

→内縁のものはふくまれません。

→ 死亡者について書いてください。

届け出られた事項は、人口動態調査（統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管）、がん登録等の推進に関する法律に基づく全国がん登録（厚生労働省所管）、高齢者の医療の確保に関する法律に基づくレセプト情報・特定健診等情報データベース（厚生労働省所管）感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく所要の感染症対策（厚生労働省所管）にも用いられます。

この死亡診断書（死体検案書）は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。楷書で、できるだけ詳しく書いてください。

記入の注意

一 生年月日が不詳の場合は、
推定年齢をカッコを付して
書いてください。

夜の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。

「5 老人ホーム」は、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム及び有料老人ホームをいいます。

死亡したところの種別で「3
介護医療院・介護老人保健
施設」を選択した場合は、
施設の名称に続けて、介護
医療院、介護老人保健施設
の別をカッコ内に書いてく
ださい。

傷病名等は、日本語で書いてください。

I欄では、各傷病について

- ・発病の型(例:急性)
- ・病因(例:病原体名)
- ・部位(例:胃噴門部がん)
- ・性状(例:病理組織型)

等もできるだけ書いてください。

妊娠中の死亡の場合は「妊娠満何週」、また、分娩中の死亡の場合は「妊娠満何週の分娩中」と書いてください。産後1年未満の死亡の場合は「妊娠満何週、産後満何日」と書いてください。

一 I 欄及びII欄に関係した手術について、術式及びその診断名と関連のある所見等を書いてください。紹介状や伝聞等による情報についてもカッコを付して書いてください。

からの期間にかかわらず、その事故による死亡が該当します。

「5 煙、火災及び火焰による傷害」は、火災による一酸化炭素中毒、窒息等も含まれます。

「1住居」とは、住宅、庭等をいい、老人ホーム等の居住施設は含まれません。

— 傷害がどういう状況で起こったかを具体的に書いてください。

妊娠週数は、最終月経、基礎体温、超音波計測等により推定し、できるだけ正確に書いてください。

母子健康手帳等を参考に書いてください。

—氏名の欄には、医師本人が署名してください。
記名押印は原則不可です。